



# iOCHOW i04

---

DLP ミニ プロジェクター

あなたはいつもそのようなショーに出ましよう

プロジェクタをワイヤレスネットワークに接続する

# 目次

注意.....	2
警告.....	3
FCC情報.....	6
パーツやコントローラー.....	8
仕様.....	10
バッテリーを充電.....	11
バッテリー残量のチェック.....	11
リモートの操作.....	12
セットアップ.....	12
ペア.....	12
コントローラーとボタン.....	14
プロジェクターの操作.....	15
セットアップ.....	15
プロジェクタをワイヤレスネットワークに接続する.....	16
プロジェクターの内容.....	17
画像調整.....	23
オーディオ.....	25
内部ストレージ容量の確認.....	26
電源を切り.....	26
レンズの洗浄.....	26
プロジェクターのアップデート.....	27
撮影のトラブル.....	27

## 注意

- ・ 感電の危険性を減らすために、カバーを外さないでください。  
内部には修理可能なパーツはありません。
- ・ 火災や感電の危険を減らすために、雨または湿気な場所に放置しないでください。



三角形中に雷の矢印があるのはユーザーに警告しています：  
製品の中に未絶縁の“危険電圧”のリスクがあり、  
人員に対して感電するリスクがあります。



三角形の中に感嘆符があるのは、ユーザーに警告しています：  
製品に付けている重要操作とメンテナンス説明を注意する事。

## 重要な安全説明

すべての安全および操作指示は、事前に読んで、遵守し、従うべきです。

# 危険

感電、火傷、火災またはけがの危険を減らすため：

1. シャワー中は使用しないでください。
2. 落下したり、引っ掛かったりする場所に置かないでください。
3. 水やその他の液体に入れたり、落としたり、水没させたりしないでください。
4. 水に落ちた装置には手を触れないでください。直ちにプラグを抜きます。
5. 液体がプロジェクターに零れないように注意してください。

# 警告

1. この製品は精神障害者あるいは子供に使用させないでください。  
それらの人の近くに使用されるときは、密接に監督が必要です。
2. この製品は、取り扱い説明書に記載された内容に従って使用してください。
3. 雷雨や長期間使用しないときは、本体のプラグを抜いてください。
4. 絶対に物を落ちしたり、物の本体に挿入したりしないでください。
5. プラグコンセント、コンセント、およびコンセントから出る場所で、  
アダプターコードが踏まれたり挟まったりしないようにしてください。

6. アダプターコードが熱い表面に触れることを許さないでください。
7. 直射日光やラジエーター、電気ヒーター、ヒート・レジスター、ストーブ、その他のユニット（アンプを含む）などの熱源から離れた場所に設置してください。
8. 衣服、ビニール袋、紙などの材料で製品の換気口をふさがないようにください。  
また、換気口がふさがれているベッドやソファなどの柔らかい場所に置かないでください。
9. 電源コンセントに過負荷をかけないようにください。指示通りに電源を使用してください。
10. 本機をコードで運び、コードをハンドルとして使用しないでください。
11. コードやプラグが傷ついたり、正しく動作していない場合、または落としたり破損したり、水に落としたりした場合は、絶対に本機を操作しないでください。  
本体の電源コードまたはプラグが損傷している場合は、自分で修理しないでください。
12. 感電の危険を避けるために、分解または修理をしないでください。誤った修理は、装置を使用するときに感電や人身傷害の恐れがあります。
13. 爆発性および/または可燃性のフュームの場所では使用しないでください。
14. 電源コードを引っ張って、コンセントからプラグを抜かないでください。

# 警告！

この製品には充電式バッテリーが含まれています

- ・高温、湿気が多い場所、または直射日光の当たる場所に保管しないでください。
- ・製品を決して分解しないでください。
- ・火や水の中に絶対に廃棄しないでください。爆発やけがの恐れが入ります。
- ・製品は子供の手の届かない場所に保管してください。
- ・湿った手で製品に触れないでください。
- ・製品を適切に廃棄してください。
- ・製品は通常の家廃棄物で廃棄してはなりません。
- ・適切な処分については、地域のリサイクルセンターにお問い合わせください。

# FCC 情報

この装置は、FCC規則のパート15に準拠しています。操作には以下が適用されます  
2つの条件：

1. このデバイスは有害な干渉を引き起こさない。
2. このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、  
受信した干渉を受け入れる必要があります。

**注意：** 遵守責任者が明示的に承認していない本装置の変更または改造は、  
装置の修理の保証はなくなってしまいます。

**警告：** FCCの高周波に掛るガイドラインの遵守を維持するために、  
製品を近くの人から少なくとも8インチのところに放置してください。

**ノート：**

この機器はテスト済みで、クラスBの制限に準拠していることが判明しています。  
デジタル機器であり、FCC規則第15部に準拠しています。これらの制限は、居住用の設置で有害  
な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。本装置は無線周波エネルギーを生成、  
使用、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉を



引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。この機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合、装置の電源を入れ直すことによって判断することができます。ユーザーは、次の1つまたは複数の方法で干渉を試して修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- 装置と受信機の間隔を広げる事。
- 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに機器を接続する事。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

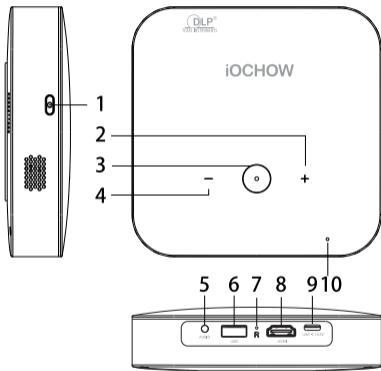
クラスBのFCC制限を確実に満たすためには、シールド付きケーブルを本機と一緒に使用する必要があります。

**注意：** Wi-Fiテクノロジーの放射出力は、FCC無線周波数の露出制限を下回ります。

それにもかかわらず、通常の動作中の人間の接触の可能性が最小限に抑えられるように無線機器を使用することをお勧めします。

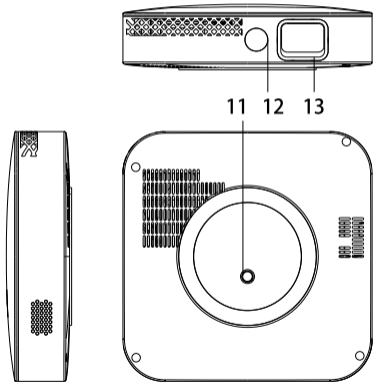
# パーツやコントローラー

1. 電源スイッチ
2. 音量+
3. オート イメージ修正
4. 音量-
5. オーディオ 出力
6. USB ( 5V out )
7. リセット
8. HDMI
9. USB-C 充電入力
10. 電源ランプ



# パーツやコントローラー

- 11. 三脚マウント
- 12. オートイメージ調整センサー
- 13. レンズ




# 仕様

製品の寸法：	5.1" X5.1" X1.26"
輝度：	400 ルーメン
ランプ寿命：	20,000時間
イメージ サイズ：	120"
スロー：	1.12
コントラスト：	10,000 : 1
ネイティブ解像度:	1280 x 720 (720p)
アスペクト：	16 : 9
内蔵スピーカー：	2 2.5-watt スピーカー
パワー：	USB-C 14.5V/2.48A
フォーカス：	オート フォーカス
オートキーストーン：	±45°自動垂直台形補正
バッテリー：	Li-polymer, 7,800 nAh
推定バッテリー容量：	1.5時間
内蔵メモリー：	5GB

## バッテリーを充電

内蔵バッテリーは付属のUSB-Cケーブルを使用して充電します。プロジェクターの電源インジケータランプが赤く点灯されると、バッテリーが充電中であることを示します。一度完全に充電されると、電源ランプが緑色に点灯します。

電源を入れると、プロジェクターは電源が入っているときにホーム画面のステータスバーに  充電アイコンを表示します。

**重要：**最初に使用する前にバッテリーを完全に充電してください（約4-5時間）。

# リモートの操作

## リモコン設置

1. 付属の(2) AAA電池をリモコンに取り付けます。

- ・機械の背面にバッテリードアを見つけます。
- ・リモートドアの矢印を押し、矢印の方向にスライドさせます。
- ・バッテリーケースの内側にバッテリーを挿入します。

**重要：**電池のマイナス( - )側を最初にスロットに挿入し、コイルに押し込んでからコンパートメントに押し込みます。電池のプラス( + )側を先に挿入しないでください。

- ・バッテリードアをコンパートメントの上に置き、ドアタブをリモコンの開口部に合わせます。ドアがしっかりと所定の位置に収まるまでスライドさせます。

# リモコンをペア

プロジェクターは主に付属のリモコンで制御されます。

**重要：**リモコンとプロジェクターの距離は6.5フィート以下にしてください。



**ノート：**

初めてプロジェクターの電源を入れると、リモートペアリング画面が自動的に表示されます。

**リモコンへのペア：**

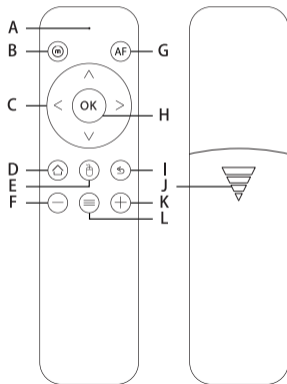
2. リモコンの音量アップ (+) ボタンと音量ダウン (-) ボタンを押し続けます。

リモコンの赤いランプがプロジェクターとリモートペアとして点滅します。

- ・ペア設定すると、プロジェクターのホーム画面のリモートアイコンが青色で表示されます 
- ・ペアしていないときは、プロジェクターのホーム画面のリモートアイコンが灰色で表示されます .

## コントローラーやボタン

- A. [ステータスランプ] リモコン使用情報を表示します。
- B. [ECO電源] ECO電源モードをオンまたはオフにします。
- C. [上]または[下]、上または下に移動します。  
[左]または[右]左または右に移動します。
- D. [ホーム] プロジェクターのホーム画面に戻ります。
- E. [マウス] リモコンをマウスとして使用します。
- F. [音量ダウン] 音量を下げます。
- G. [自動画像補正] 垂直方向のキーストーンのために画像を自動的にフォーカスして調整します。
- H. [OK] メニューオプションを選択します。
- I. [戻る] 前の画面に戻ります。
- J. [バッテリー ドア]
- K. [音量アップ] 音量を上げます
- L. [入力] 入力選択ポップアップメニューを起動します。





# プロジェクターの操作


## セットアップ

1. プロジェクタは、内蔵バッテリーを使用し、またはUSB-C充電ケーブルを使用して電源に接続している間に給電できます。
  - ・ AC電源でプロジェクタに電力を供給するには、電源アダプタをUSB-C充電ケーブルに接続します。ケーブルのUSB-C端をプロジェクタのDC入力ポートに接続し、電源アダプタをコンセントに接続します。接続すると、電源インジケータランプがプロジェクタで点滅します。
  - ・ 内蔵バッテリーでプロジェクターに電源を供給するには、単にプロジェクターの電源を入れます。

**重要：**最初に使用する前にバッテリーを完全に充電してください（約4-5時間）。

2. 電源ボタンを3秒間押し続けてプロジェクタの電源を入れます。☒プロジェクターを15秒から30秒で起動し、画像を調整します。




# プロジェクタをワイヤレスネットワークに接続する

1. プロジェクターのホーム画面で  「設定」を選択します。
2. 設定メニューの「Wifi」までスクロールします。
3. 近くにある利用可能なネットワークを検索するには、「スキャン」を選択します。
4. リストされたオプションから目的のネットワークを選択します。
5. 必要なネットワーククレデンシャルを入力し、[接続]を選択します。

プロジェクタとネットワークを数秒間で同期させます。

6. リモコンの "ホーム" ボタンを押すと、プロジェクターのホーム画面に戻ります。

接続設定が成功すると、プロジェクターのホーム画面のステータスバーにワイヤレスアイコンが表示されます。アイコン上の青色で網掛けされたバーの数は、無線電波の強度を示します。

- ・  接続されていません
- ・  弱い無線電波
- ・  強い無線電波

# プロジェクターの内容

このプロジェクターは、多くの一般的なストリーミングアプリケーションを備えたスタンドアロンのストリーミングデバイスとして、または有線HDMI接続またはワイヤレス接続でさまざまなデバイスのコンテンツを共有できます。

## スタンドアロンストリーミング

**重要：**一部のアプリでは、コンテンツにアクセスするためには支払いや定期購入が必要です。アプリの可用性は変更可能です。ストリーミング速度は、インターネット接続によって異なります。

1. プロジェクターをワイヤレスネットワークに接続します（このマニュアルの16ページの「ワイヤレスネットワークへのプロジェクターの接続」を参照）。

### アプリをダウンロードする

2. プロジェクターのホーム画面からApp Centerアイコンを選択します。
3. 目的のアプリを選択します。
4. インストールを選択し、必要に応じて画面のプロンプトでアプリケーションに従います。

5. 必要なアプリケーションアクセス資格情報を入力します。

## ストリーム

6. プロジェクターのホーム画面で、希望のストリーミングアプリを選択します。

7. 通常どおりに表示して再生するコンテンツを選択します。

## TIP

リモコンで簡単に操作するには、リモコンのマウスモードを有効にします。

マウスモードでは、典型的なコンピュータマウスと同様に、リモコンにオンスクリーンカーソルを表示することができます。リモコンの"マウス"ボタンを押して、リモコンのマウスモードをオンまたはオフにします。

# HDMIの接続

プロジェクタは、スマートフォン、タブレット、ラップトップ、メディアストリーマー、デジタルカメラをHDMI経由で接続できます。

**重要：** HDMIポートを持たないデバイスに接続するにはアダプタが必要です。無線で接続する必要があるかもしれません。使用するアダプターのタイプを判別するには、本書の「接続に必要なもの」（20ページ）のセクションを参照してください。

1. HDMIケーブルをプロジェクタのHDMIポートに接続し、もう一方の端をソースデバイスに接続します。

**重要：** 一部のデバイスは、投影されたイメージのソースデバイスからのディスプレイを自動的にミラーリングしますが、他のデバイスはこの機能を持たないかもしれません。

ミラーリングできないデバイスは、ビデオや写真のスライドショーを投影するためにプロジェクターで使用することができます。

## ノート：

ラップトップまたはコンピュータに接続するときは、ディスプレイ設定で複数の表示オプションを有効にする必要があります。

## 接続するには何が必要ですか？

ソースデバイス	接続する必要がある
Apple iPad, iPhone iPod touch devices	Apple®デジタルAVアダプタ（別売）とHDMIケーブル（付属）またはHappyCast APP
SlimPort®搭載のAndroid™デバイス	SlimPort®-HDMIアダプタ（別売）とHDMIケーブル（付属）
MHL®搭載Android搭載端末	MHL®-HDMIアダプタ（別売）とHDMIケーブル（含む）
その他のAndroid搭載端末	ワイヤレスHDMIアダプタ（別売） Chromecast™
HDMIポートを備えたラップトップ またはゲームコンソール、AppleTV®、 ROKU®、Amazon Fire TVなど HDMIストリーミングデバイス	HDMIケーブル（含む）
HDMIストリーミングスティックまたは Chromecast デバイス	無、プロジェクターのHDMIポートに直 接差し込む
GoProデバイス、デジタルカメラ、デジタル ビデオカメラ	マイクロHDMIアダプタ（付属）またはミニ HDMI アダプタ（別売）およびHDMIケーブル（同梱）

ノート：ソースデバイスがここにリストされていない場合は、デバイスメーカーにお問い合わせください。

## ワイヤレス接続

プロジェクタは、スマートフォンやタブレットにワイヤレス接続で接続できます。

### Android設備

**重要**：Androidデバイスでは、Android OS 4.4以降とワイヤレス画面ミラーリング機能を使用して、プロジェクタとワイヤレスに接続できます。

1. リモコンの "入力" ボタンを押してください。
2. ポップアップメニューで「スクリーンミラーリング」を選択し、プロジェクターに接続画面が表示されます。
3. Android搭載端末の画面上部から下にスライドして通知パネルを表示します。
4. [クイック接続] ボタンまたは [スマートビュー] オプションを選択します。
5. 使用可能なスクリーンミラーリングデバイスのリストからプロジェクタを選択します。

## IOS設備

**重要：** iOSデバイスとプロジェクターは同じワイヤレスネットワーク上にある必要があります。

1. プロジェクタをワイヤレスネットワークに接続します

(このマニュアルの16ページの「プロジェクタをワイヤレスネットワークに接続する」を参照)

2. プロジェクターのホーム画面でHappy Cast APPを開きます。

3. プロジェクターを使用してIOSデバイスを同じワイヤレスネットワークに接続します。

4. AirplayをIOSデバイスで開き、接続リストの「Cast G1」に接続します。

**ノート：** あなたの携帯がAndroidデバイスの場合、HappyCastでプロジェクトに従ってください。

Enterを入力するとhappy cast APPがステップの指示を見つけることができます。

1. プロジェクタをワイヤレスネットワークに接続します (このマニュアルの16ページの「プロジェクタをワイヤレスネットワークに接続する」を参照)

2. Happy Cast APPをダウンロードするには、QRコードをスキャンしてください。

3. モバイルでハッピーキャストアプリを有効にする

4. 投写リストのプロジェクター「Cast G1」を使用し、モバイルでhappy castを接続します。

5. プロジェクトでモバイルのHappy Cast APPで再生キーを押します。



## USB フラッシュ ドライブ

コンテンツはUSBフラッシュドライブから直接再生できます：

1. プロジェクターのホーム画面から「ファイルブラウザ」アイコンを選択します。
2. デバイスリストから「USBディスク」を選択します。
3. USBフラッシュドライブ上の目的のファイルに移動し、表示するファイルを選択します。

**重要**：wmv, mpg, mpeg, avi, mov, mp4, jpgなどは対応できます。

## 接続入力の変更

リモコンの"入力"ボタンを押して、接続入力ポップアップメニューを起動し、ワイヤレス入力とHDMI入力を入れ替えます。


## 画像調整

オートフォーカスと自動キーストーン調整

リモコンまたはプロジェクターの自動画像補正ボタンを押します。プロジェクターを数分間放置すると、画像の縦方向のキーストーンを自動的に合わせて補正できます。

## マニュアルフォーカス調整

手動で画像のフォーカスを調整するには：

1. プロジェクターのホーム画面で  「設定」を選択します。
2. 設定メニューページで「フォーカス」にスクロールします。
3. "Manual Focus"を選択し、リモコンの左 (<) または右 (>) ボタンを使用して、目的のレベルにフォーカスを合わせます


## ECOパワーモード

ECO電源モードは、プロジェクターのバッテリー寿命を最大にするためにプロジェクターの輝度を低下させます。リモコンのECO電源モードボタンを押して、ECO電源モードをオンまたはオフにします。

## ビビッドモード

ビビッドモードは、画像のコントラストと輝度を向上させ、映画を見るのに最適です。

ビビッドモードをオンまたはオフにする：

1. プロジェクターのホーム画面から  “設定” アイコンを選択します。
2. 設定メニューのスクロールダウンして、鮮やかなモードにします。
3. オン or オフを選択します。

## オーディオ

プロジェクターにはスピーカーが内蔵されており、プロジェクターの電源を入れたときに自動的にサウンドに使用されます。オプションで、外部スピーカーを接続すればもっと大きな音が出られます。

## ボリューム調整

プロジェクタの音量は、プロジェクタの音量コントロールまたは付属のリモコンの音量コントロールを使用して調整できます。音量アップ (+) ボタンまたは音量ダウン (-) ボタンを押して、好みの音量に調整します。

## 外部スピーカーの接続


外部スピーカは、プロジェクタの3.5mmオーディオポート経由で、またはBluetoothスピーカでワイヤレスでプロジェクタに接続できます。

外部Bluetoothスピーカーを接続するには：

1. Bluetoothスピーカーを検出可能モードに設定します。
2. プロジェクターのホーム画面で  「設定」を選択します。
3. 設定メニューページで「Bluetooth」までスクロールします。

4. [デバイスの検索]を選択します。
5. 使用可能なデバイスのリストからBluetoothスピーカーを選択します。

## 内部ストレージ容量を確認する

1. プロジェクターのホーム画面で  「設定」を選択します。
2. 設定メニューの「Apps」までスクロールします。

内部ストレージ容量と空き容量は、画面下部のバーに表示されます。

## 電源を切り



プロジェクターの電源を切るには、電源ボタンを3秒間押し続けます。  
デバイスを保管する前に、数秒間プロジェクターの電源を完全に切ってください。

## レンズを洗淨

光学レンズ洗淨液を使用して、プロジェクターの光学レンズを清掃することができます。  
清潔な清潔な布に少量の洗淨液を塗布し、レンズを円で丁寧に拭きます。

**重要：**レンズに直接洗淨液をかけないでください。研磨クリーナー、溶剤またはクリーニングクロスは使用しないでください。プロジェクターのケースに洗淨液を塗布しないでください。

## プロジェクターのアップデーター

プロジェクタでファームウェアのアップデートが利用可能になると、ホーム画面のシステムアップデートアイコンに  赤い数字のインジケータが表示されます。プロジェクタのファームウェアを更新するには、プロジェクタのホーム画面からシステム  アップデートアイコンを選択します。

## 投射のトラブル

**投射された画像がぼやけています。**

- ・プロジェクタのフォーカスを調整して画像を微調整します。
- ・投写している表面が滑らかであることを確認してください。
- ・プロジェクターのレンズにほこりや屑がないことを確認してください。

**投影された画像が小さすぎます。**

- ・プロジェクターを投写面から遠ざけてください。

**投影された画像は、一方の面では小さく、他方の面では大きくなります。**

- ・レンズが投写面に90°の角度をなすようにプロジェクタを調整します。

### **プロジェクタの電源が入っていません。**

- ・プロジェクタのバッテリー電源を確認してください。バッテリーがなくなった場合は、プロジェクタを電源に接続します。
- ・プロジェクターが電源に接続されているときに充電ランプが点灯していることを確認してください。

### **プロジェクターがワイヤレスネットワークに接続できません。**

- ・セットアップメニューで正しいワイヤレスルーター名を選択したことを確認してください。
- ・ネットワークでセキュリティが有効になっている場合は、正しいパスワードを入力していることを確認してください（パスワードは大文字と小文字が区別されます）。
- ・プロジェクタとワイヤレスルーターの間に障害物がないことを確認してください。
- ・他の家電製品やその他のワイヤレスネットワークからのワイヤレス干渉を最小限に抑えるために、プロジェクタを移動してみてください。

### **音が聞こえません。**

- ・ プロジェクターの音量が上がっていて、ミュートされていないことを確認してください。
- ・ 外部スピーカーがオーディオケーブルで接続されている場合は、スピーカーからプロジェクターへの接続が両端にしっかりと接続されていることを確認してください。また、外部スピーカーの音量コントロールがオンになっていて、ミュートされていないことを確認してください。
- ・ 外部Bluetoothスピーカーが接続されている場合は、プロジェクターのオーディオ設定をチェックして、デバイスが正しく接続されていることを確認します。また、Bluetoothスピーカーがミュートされていないことを確認してください。

### **プロジェクターのリモコンが機能していません。**

- ・ リモコンのボタンを押すたびに、リモコンのステータスランプが点滅すると、リモコンに問題がありません。
- ・ リモコンを使ってプロジェクターに近づけてみてください。
- ・ 電池が正常に機能していることを確認します。
- ・ リモコンのペアリングを再度試みてください (15ページの「プロジェクターの操作」を参照)。

### **プロジェクターは映像がありません**

- ・ プロジェクターと投写面の間に障害物がないことを確認します。
- ・ プロジェクターのバッテリーの充電を確認します。電源が切れている場合は、本体の電源が入っている間にプロジェクターの電源を入れてみてください。

- 電源が入っている場合は、本機の充電ランプが点灯していることを確認してください。
- 本体の電源を切り、再起動ボタンを押し、ユニットの電源を入れなおします。
- ケーブル接続されたHDMI接続でプロジェクタに接続した場合：
  - HDMIケーブルがデバイスのHDMIポートとプロジェクタのHDMIポートにしっかりと接続されていることを確認します。
  - デバイスを接続するために必要なアダプタまたはケーブルを使用していることを確認してください。また、お使いのデバイスがHDMIビデオ出力をサポートしていること、および必要なケーブルやアダプタを使用して接続を行っていることもデバイスメーカーに確認してください。アダプターが必要な場合は、プロジェクターの電源を切り、アダプターを追加してプロジェクターの電源を入れなおしてください。
  - ラップトップまたはコンピュータに接続している場合は、ディスプレイ設定をチェックして、複数の表示オプションが選択されていることを確認します。
  - ゲームコンソールに接続されている場合は、コンソールとプロジェクターの電源を切りまします。HDMIケーブルがプロジェクタのHDMIポートとゲームコンソールのHDMIポートにしっかりと接続されていることを確認します。プロジェクターの電源を入れ、ゲームコンソールの電源を入れます。



- **iOS**デバイスとワイヤレス接続してプロジェクタに接続している場合：
  - プロジェクターとiOSデバイスが同じワイヤレスネットワークに接続されていることを確認してください。
  - あなたのデバイスでHappyCast Appを起動したことを確認してください。
- **Android**デバイスとワイヤレスで接続してプロジェクタに接続した場合：
  - デバイスが画面のミラーリングをサポートしていることを確認します。
  - プロジェクターでスクリーンミラーリング入力を選択されていることを確認します。

本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます



**iOCHOW**